

NEWS LETTER

No. 3



- 本市の児童生徒は年々減少傾向にあり、加えて学校施設の老朽化が進んでいることから、子供たちにとってより良い教育環境の見直しや整備が求められます。
- 本市では、未来を担う子どもたちが、心豊かで自分らしく輝けるひととして育つよう、市内すべての小中学校を対象とした具体的な学校の再編や建替について「各務原市学校適正規模・適正配置等検討委員会」を設立し、調査・審議を進めています。

第3回各務原市学校適正規模・適正配置等検討委員会を開催しました

令和7年10月29日に各務原市産業文化センターにおいて第3回各務原市学校適正規模・適正配置等検討委員会を開催しました。

アンケートの調査結果や学校再編の進め方等について共有・議論しました

全市的なアンケート調査では、9割を超える方が学校再編を許容しているという結果になりました。

また、学校再編には色々なパターンが考えられますが、約9割の方が「同じ中学校区の中で小学校同士を統合する」パターンを許容できるという結果になり、次に多かった回答として、約6～7割の方が「同じ中学校区の中で小中一貫校化する」パターンが許容できるという結果になりました。

その他のアンケートや、自治会連合会長やPTA役員への聞き取り、児童生徒数の推計結果等を踏まえて議論し、学校再編案の検討にあたっては、現行の中学校区を基本としながら、6つの再編対象グループ（右表）を設定し、各グループ内で様々な評価軸を基に最適な再編案を検討していくこととしました。

再編案の検討にあたっては、将来の児童生徒数や施設の老朽化等による学校建替といったハード面の評価や教育課程等のソフト面の評価が重要であるとの認識を共有しました。

<表 再編対象グループ>

那加・桜丘中学校グループ	鵜沼・中央中学校グループ
・那加第一小学校 ・那加第二小学校 ・那加第三小学校 ・尾崎小学校 ・那加中学校 ・桜丘中学校	・鵜沼第一小学校 ・鵜沼第二小学校 ・八木山小学校 ・陵南小学校 ・各務小学校 ・中央小学校 ・鵜沼中学校 ・中央中学校
稲羽中学校グループ	緑陽中学校グループ
・稲羽西小学校 ・稲羽東小学校 ・稲羽中学校	・鵜沼第三小学校 ・緑苑小学校 ・緑陽中学校
川島中学校グループ	蘇原中学校グループ
・川島小学校 ・川島中学校	・蘇原第一小学校 ・蘇原第二小学校 ・蘇原中学校

第3回委員会で出された主な意見を紹介します

- ・アンケート調査結果より、学校再編に対して肯定的な意見が多いことから、思い切った再編を実行してもよい。ここで重要なのは、単純に児童生徒数だけではなく、ソフト面も考慮しながら教育環境を整備していくことである。
- ・私は小中一貫校での勤務経験があるが、教科担任制として中学校の専門的な知識をもって小学校の授業を実施した方が、小学校教師では教えられない教科の魅力を伝えられると強く感じている。小学校の段階における教科担任制は大きな効果があると考えている。
- ・学校再編を考える上では評価軸が重要であり、その内容については、今後検討していくことになると思う。通学距離や将来の児童生徒数、ハード面、教育課程等のソフト面について検討する必要がある。
- ・義務教育学校という新しい教育環境は、児童生徒だけでなく、教員も小学校と中学校間で交流できるなど、教育の観点から様々なメリットがあると考えている。
- ・仮に市内に義務教育学校を設置する場合は、比較的規模が大きくなる場合も考えられる。今後児童生徒数の増加が見込まれない中、現時点で適正規模に収めるよりも、将来を見据えて少し多い児童生徒数で学校再編を実施することで、緩やかに適正化していくと思う。
- ・1学年1学級では運動会のイベント等で競争意欲を抱きづらく、競争を通して味わう様々な感情を経験することができないと思う。学校規模をある程度検討した上で、その他の様々な要素について検討できればよい。
- ・一部の地域では児童生徒が通学時に主要幹線道路を横切る必要があるため、再編によってそういう通学区域が減ると良いと思う。

検討委員会の資料等をウェブサイトで公開していますのでご覧下さい。（右記二次元バーコードより）

【お問合せ先】各務原市役所 教育委員会事務局 教育施設整備推進課

TEL：058-383-7302（直通） E-mail：kyseibi@city.kakamigahara.gifu.jp

